

みんなの幸^{しあわ}せを願^{ねが}って

PTA 人権^{じんけん}・同和教育推進委員会発行

人権^{じんけん}は「暗^{くら}い」か「明^{あか}るい」か

PTA 人権^{じんけん}・同和教育推進委員長

西岡^{にしおか} 正光^{まさみつ}

「はじめは気が重^{おも}かったけれど、振り返ってみると楽しく貴重^{きちょう}な経験^{けいけん}となりました。」

2月に開催した今年度最後の PTA 人権^{じんけん}・同和教育推進委員会での、ある委員^{いいん}さんの発言^{はつげん}です。委員長^{いいん ちょう}たる自分自身^{じぶん じしん}も、不安^{ふあん}や戸惑^{とまど}いを持ちながら進^{すす}めてきましたが、「1年間^{ねん かん}やってきてよかったなあ。」と感じた瞬間^{かん しゅん かん}でした。

このときの委員会では、1年間の取り組みを終えての反省^{はんせい}と、来年度^{らいねんど}に向けての話し合^{はな あ}いをしましたが、多く^{おほ}の前向き^{まえむ}な提案^{ていあん}を出^だして頂^{いただ}きました。



6/6 先進^{せんしん}地研^{ちけん}修^{しゅう}

「人権^{じんけん}という堅苦^{かたくる}しく思^{おも}われるが、実際に参加^{じっさい さんか}してみると、気楽^{きらく}に勉強^{べんきょう}ができたり、交流^{こうりゅう}が深^{ふか}められたりした。暗^{くら}いイメージをなくして、参加^{さんか}しやすい工夫^{くふう}をすることが必要^{ひつよう}だ。」という意見^{いけん}が代表^{だいひょうてき}的なものでした。

確かに「人権^{じんけん}や同和教育^{どうわ ぎょういく}」という言葉^{ことば}に明^{あか}るさや楽^{たの}しさをイメージする人^{ひと}は多くありません。「暗^{くら}さを感じ^{かん}じる」という状況^{じょうきょう}を変^かえていくことが、人権啓発^{じんけん けいはつ}の最も重要^{もっと じゅうよう}なポイントであり、困難^{こんなん}な課題^{かだい}であると思^{おも}います。

差別^{さべつ}や人権侵害^{じんけん しんがい}は、人^{ひと}の人生^{じんせい}そのも

奈良県水^{なら けん}平^{すい}社^{へい}博^{しゃ}物^{はく}館^{かん}と周^{しゅう}辺^{へん}フイールドワーク

のを否定することであり、命に関わることもあるので、軽々しく扱われる問題ではありません。そういう意味では、人権は単に「明るい」だけのものではありません。しかし、自分の人権意識を高める過程には、頭を柔らかくして、「ワクワク・ドキドキ」する心を持ち、新たな自分と出会うことを必要としています。眉間にしわ寄せた「しかめっ面」で語る人権は、かたくななままの自分は守れても、自己変革への扉を開けることはできません。だから、「明るく楽しく人権にアプローチすること」は、大切なスタンスだと思います。



しがけんじんけん ふくだじょうえん
滋賀県人権センター 福田定円さん

さあ、具体的にどう進めましょうか。結論は急ぎません。人権は「他人事」ではなく、「自分事」です。一人ひとりが知恵を出し合いながら、少しずつでも、自分自身を、そして自分のまわりを変えていきましょう。

ぜんいんけんしゅうかい こうえん
7/16 全員研修会 講演



2004年度 人権・同和教育推進委員会 1年間の取り組みを終えて

2月2日の最後の委員会で、今年度の人権・同推委員会の様々な取り組みについて、反省と来年度に向けての話し合いをしました。

【今年度の活動を通して】

- ・委員長のリーダーシップのもと、1年間委員会活動ができた。
- ・何度参加しても、参加するたびに「人権について学ぶこと」は大事なことだなあと、いつも思う。役員を終えても、参加したい。

・生徒による人権侵害事象があったとき、その後の関わりが大事である。人権・同推委員会等のこうした活動を地道に続けながら、さらに広げていくことが大切である。「子どもの人権侵害事象がある」という実態や、大人の中にも差別意識が残っているという実態を重く受け止め、内容を深めていきたい。

・研修会に参加したときは意識が高まるが、その場限りで終わってしまうことが多い。研修会の最後に「家族や子どもが差別的な発言をしたときに、“間違っているよ”とその場で伝えていきましょう」と言って、会を終わるようにするべきである。そうすることで、学んだことがその場限りで終わることなく、差別をなくするために一歩進んだものにすることができる。

・「人権・同推委員は大変」という保護者のイメージがある。自分としては、役員になったのを機会に、「自分が学ぶ機会ができた」と、とらえている。実際、委員会の中で、事業を直接運営したのはブロック懇だけで、研修する場の方が多かった。

・研修会の後、そのことを元に子どもと話す機会が持てて良かった。

・今年度取り組まれた研修会にすべて参加したが、一方的に話を聞く研修会より、参加・体験型の研修会の方が内容をよく覚えている。

・ブロック懇では、ゲーム感覚で活動する中で、自然に意見交換をし、学ぶことができた。

課題としては

「研修会への参加者を増やすこと」

があります。参加者を増やすために、

“役員から参加の呼びかけをする”

の他に、“学校のホームページで

も案内する”という意見が出されました。来年度は、活動の内容を

広報誌だけでなく、学校の

ホームページでも案内して

いきたいと思えます。

(この広報紙も、甲西中学校ホームページに掲載しています。)

みんなの幸せを願って



11/25 研修会 講話

甲賀郡人権センター 小林充弥さん

PTA人権・同和教育推進委員会の1年間の主な取り組み

つきひ 月日	ない 内	よう 容
4/ 8	すいしんいいん こうほ あんない 推進委員公募の案内	
6/ 6	せんしん ち けんしゅう 先進地研修	なら けん すいへいしゃはくぶつかん しゅうへん 奈良県水平社博物館と周辺フィールドワーク
6/30	こうごうどう けんしゅう 3校合同 PTA 研修	ち い き ほ ご し ゃ お も ま な ぶんさんかい 地域の保護者の思いに学ぶ・分散会
7/16	ぜんいんけんしゅうかい 全員研修会	こうえん し が けんじんけん ふく だじょうえん 講演・滋賀県人権センター 福田定円さん
7/16	こうほう し しあわ ねが はっこう 広報紙「みんなの幸せを願って」発行	
8/ 6	お と な けんしゅう CAP 大人研修	
10/ 7,8	べっこんだんかい ブロック別懇談会	
11/25	じんけんがくしゅう じゅぎょうさんかん けんしゅうかい 人権学習の授業参観と研修会	こうわ こうかくんじんけん こばやし みちや 講話・甲賀郡人権センター 小林充弥さん
12/14	こうほう し しあわ ねが はっこう 広報紙「みんなの幸せを願って」発行	
3/14	こうほう し しあわ ねが はっこう 広報紙「みんなの幸せを願って」発行	

ねんかん
1年間ありがとうございました。

かいいん みなさま きょうりよく
会員の皆様のご協力により、
こんねんど じぎょう お
今年度の事業を終えることができました。

こ すこ そだ
子どもたちが健やかに育っていく、そんな
こうせい ちゅうがっこう こんご みなさま
甲西中学校となるよう、今後も皆様の
きょうりよく ねが
ご協力よろしくお願ひします。

